

「積もる」

おはようございます。本日の最高気温7℃最低気温0℃と、東京でも例年になく寒い日が続いています。3年生は、先週、都立の推薦受験があり、いよいよ佳境に入ってきました。風邪など引かないようにマスクをするなど、健康には十分留意して万全な状態で受験できるようにしてください。

さて、先週の水曜日から金曜日までの2泊3日、2年生が福島県南部にある羽鳥湖スキーリゾートに行ってきました。雪国ではめずらしく1日目と2日目の午前中は青空という素晴らしい天候にも恵まれ、パウダースノーのゲレンデで全員がスキーの楽しさを体験することができました。3日間、習熟度に合わせて8名のスキーのインストラクターからの丁寧な指導、また、宿泊する6つのペンションでは、心のこもったオーナーからのおもてなしを受け、有意義で思い出に残る移動教室にすることができたと思います。

実は3日目の朝、各ペンションに皆さんを迎えに行く途中、1台目のバスが道路脇の積み上げられた雪に後輪のタイヤがはまってしまい、除雪のブルドーザーに引き上げてもらうという雪国ならではのハプニングが発生しました。定刻にバスが来ないので心配していた人もいましたが、ほとんど雪の降らない東京に住んでいる皆さんからしてみれば驚きの体験だったと思います。

さて、今年、日本の海側は、記録的な大雪となり様々な被害が出ています。コシヒカリのお米で有名な新潟県魚沼郡では3m60cmも積もったそうです。スキー場に雪がなければお客さんは来てくれませんが、雪の降る地域で生活をしている人にしてみれば、降りすぎれば、除雪車だけでは間に合わず、家の屋根や出入口前の雪はその家の持ち主が雪下ろしや雪かきをやらざるを得ません。お年寄りだけの家であっても例外ではありません。雪下ろしや雪かきをしなければ、雪の重さで家がつぶれてしまい、出入口の前の雪かきをしなければ家から出られなくなります。すでに全国でお年寄りを含む26名が死亡、471人がケガをしています。

また、「積もる」のは、雪だけではなく、九州の鹿児島と宮崎の近くにある霧島山新燃岳の189年ぶりの大噴火により、火山灰が空を覆い昼間でも暗い状況が続いています。地上には東京ドーム6杯分の数10cmにもなる火山灰により健康被害や交通にも支障がでたり、5cm以上の噴石（噴火により飛んできた石）により屋根や車のガラスが割れたり、火山灰で野菜が全滅となる被害も出ています。雪は温度が上がれば溶けますが、火山灰は溶けません。逆に雨などの水分を含めば、泥流（泥の流れ）や土石流が二次災害を起こす危険性もあります。

このように今も、私たちが住む日本の各地では、「積もる大雪」「積もる火山灰」などの自然災害が引き続き発生しています。日本にも、このようなことが起きていること、大変な苦勞をしている人がそこにいることを知り、私たちは何か手助けできることはないだろうかと考え、行動を起こせばと思います。生徒会役員のみんさんも生徒会の取り組みの一つとして考えてみてください。